（十六日夕刊）

休刊　大祭日第一・第三日曜
定價　一ケ月　一部二錢　郵税六十錢　十五錢
廣告料　壹行六十錢　指定廿錢增
發行兼編輯人　磐城新聞社　電話五六四番
福島縣平町田町十六番地
磐城新聞社

## 近時片々

政友會の演説會

秋漸く長けて運動により、風雲によく讀書にもよし、絵うながら今日の世相を見れば、悠長なスポーツでもあるまい、暢氣な風潮でもあるまい。況して靜謐して讀書するなとは平時のことで今は實に非常の時、書生らは正に劍を握つて起つべき秋だ。

政友會が近く平や植田に政談演説會を開いて大に時局匡救の主義政策を强調し併せて國民生活の苦惱には殆んど風馬牛の態度(?)を持しつゝある現内閣の失政を糾彈して以てその是非を民衆の判斷に懇ゝる事に於つては蓋し時宜當然の事會は總ての國民が、展開に協力すべき秋であるそれは國家を救ふと共に自他を救ふ所以である、更めて說くまでもない世相の惨、鬼畜でなければ之れが默視されるか。

政府の權力、與黨の虚勢を以てしても、人心の趨向心理の潮流は堰き止められるものでない。此の趨向、潮流に乘り且つ導いて、君國の爲め、國民生活安定の爲めに、全國民的奮起と協力が緊切なる急務である。

秋の淋しさ、此歳特に身にしむ、が尚ほ續いて生活苦惨々惨烈になれば、此の先一日本は何うなる？

## 思ひ出草（23）

哲村

古いスクラップブックから

——（平　驛）——

三枚の襯衣と萬年筆のインクと"大正の青年と帝國の進途"が一冊だけである。行李嚢囊とは名だけで、彼は泌々と感に堪つた、雲も切れ目から鈍い陽の光が洩れた

函館迄の切符を買つた。

雨は汽車に乘り込む頃から土砂降りとなつて漂泊の旅に上る彼の軀躰を一層滅入らせた。平では停車場へ出て呉れる筈であつた文藝フト視線を車外に投げて深い物思ひに沈むのであつた

彼は雑誌にも倦んでやけに敗鳥をふかし始めたが暫時してから"ねゝ詰らぬ"と思つた彼は方面違ひな故郷の藝者逐の事などを思つて見た。暫時の間彼の眼前には雑多な女の顔が浮んで來るのであつた。そして可なりの金を費ひ乍ら彼の引つ込み思案が遂にそれ等の女の一人にもタッチし得なかつた事を今更莫迦〳〵しがつたりした

彼はフト前に居る二十二三の女に話しかけた。女は"やがれ"と必で叫んだ戸外はひどい風で傘も何も持てない樣子であつた（大正七年七月再び樺太への一齣）

浪江へ着いた。

が女は輕く會釋して立つた目論見の齟齬に内心面白くなかつたので"勝手にしやがれ"と必で叫んだ心の中で蔑んだ浪江へ着いた。

彼は再び讀み續きの雜誌を開いてはその上對談の必要もなかつた

彼は平で冗談言つちゃ不可ません、界隈の酒屋八軒から借りだけ少しもお拂へがないのですから、一山の遊場と言ヤ貴樣は存外正直なやつだ口がるれば行く氣なところで來たのは、兩國横山町二丁目伊豆屋の店先……此なくていい不可ん、あゝ飲みの伊豆屋と云ふのは却々の

彼の携へた合財袋には二冊だけ入れた雜誌ポケットを出して面白そうなのから拾つて讀み始めた。頭の混亂！

てゐる彼には恁うした讀み物の外四角張つたものや系統立つた讀書は出來ぬのであつた

天候は原の町邊から風さへ加はつて横なぐりの雨は慈硝子の外に川の如く流れた

彼は雑誌にも倦んでやけに敗鳥をふかし始めたが

ものであつた、この方面の消息に精進してゐる彼は恁うした風の女が未知の異性と言葉を交すのに何等の疑も逡巡もないと確信し豪富な返答を豫期して居つたので味も鹽氣もないこの返答には少からず張り合ひぬけがした。質は急ぐ旅でもなし仙臺へでも泊ると云ふなら宿を共にしても良い位の考だつたが行く先が浪江と聞いてはその上對談の必要もなかつた

彼は再び讀み續きの雜誌を開いてはその上對談の必要もなかつた

彼は再び讀み續きの雜誌を開いて目を落とした。女はバスケットからハーモニカを出して吹き出した。それが如何にも衒氣滿々で氣障に思はれたので"きいたふりをしやがる"と彼は心の中で蔑んだ

浪江へ着いた。

が女は輕く會釋して立つた目論見の齟齬に内心面白くなかつたので"勝手にしやがれ"と必で叫んだ

戸外はひどい風で傘も何も持てない樣子であつた（大正七年七月再び樺太への一齣）

△沙河の大激戰（明治三七）△怪寫眞事件中心人物石黑、平岩の兩名逮捕さる（大正一五）△長谷川元帥朝鮮總督に任せらる（大正五）△天竺德兵衛の船出、この日德兵衛十五歳にして書記に雇はれ外國出帆、後臺灣東夷趾、東蒲塞、羅遐、呂宋印度等を航行して無冠の海上王となる、播州船頭町の生れ晩年大阪上海町に住し剃髮して宗心と號し風流に世を終る年八十九—（寛永十六）△中臣鎌足薨す（天智天皇八年）

## 講談　天竺德兵衛

東京　桃川燕二演
村田月光譜

（七七）

「酒屋の門止めとは聞いたことは無いが、何か酒屋へ不上かゝ閉門でも仰せ渡しがあつたのか」——「先生冗談言つちゃ不可ません、界隈の酒屋八軒から借りだけ少しもお拂へがないのですから、一山の遊場と言ヤ貴樣は存外正直なやつだへば鼻摘みで、一合の酒だつて持つて來る店はありません、夫故門止と斯う申すので……」——「ウム〳〵成程なア小僧人といふものは銭の小さい奴ばかりで、幾ちでも入れて置いて取れる時になつたら取ればよいのに、何も一銭借りつ放しと申すのではないのに——」

「幾ら氣が大きいからつて半年も一年も掛けが拂へぬとなると、好い加減銭を少さくして終えます、それより先生チト遊場に座り込んで門弟衆に御指南をなされば、又元通りの繁昌になりますか、手前が門人衆のところを駆廻つても二十人や三十人引っ張つて來るには物の三日を經たぬ間ですが」——「イヤなまじい弟子などが來るとうるさくて不可ない、來ない方が骨も折らず樂だ」——「其んなノンキな事を仰つしやるから困る」……「何も困ることはあるまい困るなら外の者を起きて紛擾を蜜ねてゐる御文政も末のある夏、旅か室撮影所は一時中止した爲の一般から注視の的となり旅を巡業して歩く旅芝居の一座がある、田舍町を訪れました。而しその奥行に大不漁を食つた一座は御難の憂目を見ねばなりませんでした。一座の立女、粂之助のみわびしい生活の中にも小さい幸福を見出す事が出來ました。といふのは彼には町の質屋の娘たつさとそこふ戀人があつたからです

以上十六日より平館

監督　岡田　敬

## 映畫欄

大都會（爆發篇）

原作脚色野田高梧

「梗概」津田道夫は（鈴木傳明）は大資本家の子息である。父健藏の知己は悉く財界の大立物許りであつた。しかし大學を卒業した道夫には父の資本家としての地位を利用して成功しようと言ふ考へはなかつた。一個の卒業生として就職口を求めたかつた自力で歩きたかつた、或る朝恩師大阪教授を母校に訪ねて事情日ち明けて某銀行へ紹介狀を書いて貰つた。家へ歸態度が不愉快であソ、不思議であつた。彼は大塚教授歩るくのだと言ふ意識に明るく輝くのだつた。部屋に帰しづいてゐるお八重（田中絹代）を彼は愛してゐる自負、お八重との結婚彼の心は明るい……だが、父健藏は自己の勢力擴張の爲めに富有なる内山家の令嬢美樹子と結婚させたかつた、晴れた一日彼は父と妹敏子に誘はれてゴルフリンクへドライブした其處で内山家令嬢と初對面した。父の内山への態度は實に慇懃の極めてゐた。彼には父のこと

の紹介狀を持つて某會社を訪ねた。しかし意外にも事務は口を極めて資本家としての父健藏の冷嘲を冷笑した。

## 日光の圓藏

原作脚色　古海卓一

天明七年の大飢饉、代官松下は苛税を取り立てた、奉行同心柴田源左衛門は百姓の苦惱を見かねて代官と論爭して容れられず、御金藏を破つて大天狗の名で百姓に金を惠んだ……。

## 怪奇談（髮）

## 拈華微笑

千古の光榮矣

◇選擧にも獵解禁けふ鹿を獲た七五郎の嬉しさ

◇輝く御殿閥の庭に送らるゝ代表青年男女まさに進行番號に吃驚した失業者哀れ

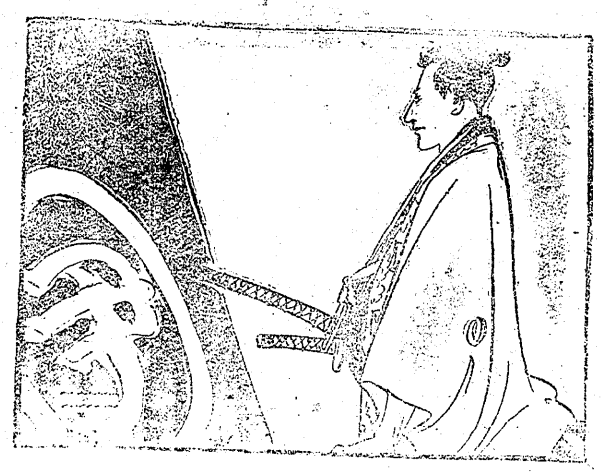
◇三十六才のスマートな船田貴談尾花も化け物に見ゆる。千臺の米價値下げ北潮流の川にて、主人の娘の雛祭を餘所に見て逃げ隱れを致した不忠な番頭が居るかと聞くのだ、其節拙者は番頭にも娘にも逢つて、約束した事があるによつて尋ね參つたものだ、娘と番頭を出せ……」。

◇米價値下げ北潮流の川にて、主人の娘の雛祭を餘所に見て逃げ隱れを致した不忠な番頭が居るかと聞くのだ、其節拙者は番頭にも娘にも逢つて、約束した事があるによつて尋ね參つたものだ、娘と番頭を出せ……」。

◇——◇

「ナニ居ない、是々當家は伊豆屋だらう、紅葉見の節玉子を餘所にして、主人の娘の雛祭を餘所に見て逃げ隱れを致した不忠な番頭が居るかと聞くのだ、其節拙者は番頭にも娘にも逢つて、約束した事があるによつて尋ね參つたものだ、娘と番頭を出せ……」。

「ナニ居ない、是々當家は伊豆屋だらう、紅葉見の節玉子を餘所にして、主人の娘の雛祭を餘所に見て逃げ隱れを致した不忠な番頭が居るかと聞くのだ、其節拙者は番頭にも娘にも逢つて、約束した事があるによつて尋ね參つたものだ、娘と番頭を出せ……」。



「先般來いろ〳〵な問題が起り紛擾を蜜ねてゐる御居られるか、斯うッとどこ頭も手代も顔を並べて立たいかな、斯うッと……」——「一日も酒なくて流石の安兵衛武庸も酒には大きな頭を苦しめます、兩居るかな」……「へえ、符腕を組んで暫く考へに耽つ腕ものの」……「何うぢや、居たが、聽てポンと膝を打つて立つた——『先生何方へ出かけで』——「ウム手前共の商なひの品には悉く符牒が入れてあります、卸の御取引の方には、夫れを御覽になれば直は判る事に兩國、先生あの兩國の橋の下を流れてゐるのは、あ

「ヤ品物ではない、番頭は居るかと聞くのだ」……「品物の外には符牒を入れてある番頭

文政も末のある夏、旅か室撮影所は一時中止した爲の一般から注視の的となり旅を巡業して歩く旅芝居の一座がある、田舍町を訪れました。而しその奥行に大不漁を食つた一座は御難の憂目を見ねばなりませんでした。一座の立女、粂之助のみわびしい生活の中にも小さい幸福を見出す事が出來ました。といふのは彼には町の質屋の娘たつさとそこふ戀人があつたからです

以上十六日より平館

監督　岡田　敬

## 映畫欄

大都會（爆發篇）

原作脚色野田高梧

「梗概」津田道夫は（鈴木傳明）は大資本家の子息である。父健藏の知己は悉く財界の大立物許りであつた。しかし大學を卒業した道夫には父の資本家としての地位を利用して成功しようと言ふ考へはなかつた。一個の卒業生として就職口を求めたかつた自力で歩きたかつた、或る朝恩師大阪教授を母校に訪ねて事情日ち明けて某銀行へ紹介狀を書いて貰つた。家へ歸態度が不愉快であソ、不思議であつた。彼は大塚教授歩るくのだと言ふ意識に明るく輝くのだつた。部屋に帰しづいてゐるお八重（田中絹代）を彼は愛してゐる自負、お八重との結婚彼の心は明るい……だが、父健藏は自己の勢力擴張の爲めに富有なる内山家の令嬢美樹子と結婚させたかつた、晴れた一日彼は父と妹敏子に誘はれてゴルフリンクへドライブした其處で内山家令嬢と初對面した。父の内山への態度は實に慇懃の極めてゐた。彼には父のこと

の紹介狀を持つて某會社を訪ねた。しかし意外にも事務は口を極めて資本家としての父健藏の冷嘲を冷笑した。

## 日光の圓藏

原作脚色　古海卓一

天明七年の大飢饉、代官松下は苛税を取り立てた、奉行同心柴田源左衛門は百姓の苦惱を見かねて代官と論爭して容れられず、御金藏を破つて大天狗の名で百姓に金を惠んだ……。

## 怪奇談（髮）

夜診
胃腸
内科　十二指腸病
專門部
内科
淋病　婦人病
皮膚病
專門部
外科
松本胃腸病皮膚科醫院
（平南町電話一〇七番）
療養

食堂擴張披露
季節向御料理種々
よせなべ五〇錢　貝なべ三〇錢　松茸とびんむし三〇錢　茶わんむし二五錢
なべ燒　支那そば　一〇錢均一
外數種大勉强
美なとすし
四倉町新須賀町

第二回長期裁縫講習會
△科目（裁縫ヲ主トシ希望ニヨリ作法、料理法、編物生花等無料ニテ教授ス）
△會費（一ケ月金壹圓）
△會場（平陽女學校）
△服裝（隨意）
△年齢（制限アリマセン）
△入會（何時デモ入會出來マス）
△特典（講習六ケ月終了者ニハ證書ヲ差上ゲマス）
石城郡平町
平陽女學校
尚本校内に寄宿の便もあり但し食費一日二十七錢にして頗る低廉であります

毎度御引立てを厚く御禮申上奔
此度弊店儀時勢に伴へ來る十五日ヨリ値下を致しました。
支那そば　金十錢
しうまい　金十錢
わんたん　金十錢
右値段にて御客樣本意に御勉め致します。
尚出前は迅速に申上奔何卒御用命を
平町新川町
平樂亭
電話二九六番

植田町本町
前田醫院
…入院謝時…　電一二四番

毎朝八時ヨリ十二時マデ　◎特賣　腕卷時計
全部十ケ年保險付
セークローム側十型三圓八〇
イー同アンクル八型七圓
コー同十五石　十型十圓半
ー同　八型十一圓
ド一十八金側　十型十三圓半
トー同　九型廿一圓
ケー同十五石　十型十七圓
エー同　八型十九圓六〇
テー十型（四角腕革付）四圓半
ン一九型（長角腕革付）六圓半
上等目覺時計　一,60錢
一週間卷掛時計　4,30錢
精幸堂
平町十字路

新築落成
耳、鼻、喉科（專門）
氣管食道科
平町南町　舊診療所向電一七〇番
大和田醫院
大和田郡司
自炊の便あり

貸地廣告
平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります。然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり敲げば社員が伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話　六〇三番　五四一番

皆樣の昭和タクシーは此際御得意樣本位に貸切料金の値下斷行
何卒御用命を
平驛前
電話三四三
サシミ
澤正路

專門　内科一般
内科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五
川井内科診療所
電話一八一番
川井重之
川井安子

# 高點爭ひ丈で

## 豫定の如く落着の形勢

### 政友四名民政三名の分野で

### 所得稅委員選擧無事終了す

委員當選と云ふ石城郡今次の所得稅調査委員選擧は從來の各種選擧に較べ頗る張り合ぬけのしたものであつたがそうなるとせめて高點爭ひ丈けでもしなければ今然選擧熱が冷て來ないと言はず語らずの張り合ひから一部に於ては暗深更に及べる夜遊戰などに相當の熱氣を見せたものゝ如く愈々今夕を以てその運命が決せられた各自の得票には或は意外な番狂はせがあるではないかと多大の興味を唆つてゐる、各町村に於ける得票の結果は今十六日夕刻より明十七日朝へかけ態夫或は郵便を以て平稅務署長宛に送り屆けられ三坂、深渡總無事の理に各七名の調査の一票田人組合の三票を除き殘六百六十餘票の分け前は恐らく明十七日正午前にする事になつてゐる

判明し

正員　（順席不同）

猪狩　庄平　補充員　叶多　清

赤津庄兵衛　小宮山省吉

柏原幸次郎　本間佐源次

加藤　丈夫　根本　品藏

（以上政友派）

阿部唯次郎　荒川淺次郎

赤津　修一　成瀨　巴三

野崎　滿藏　馬目　玉彌

（以上民政派）

の諸氏が何れも禮を盡べ豫定の當選を見ることゝなるが稅務署に於ける選擧會は二十日午前十時より平稅務樓上に於て佐々木龍若、吉村安次郎の兩氏立會ひの上開票並に愈々文字通り平稅務署長宛に送り屆けられ三坂、深渡總無事の理に各七名の調査の一票田人組合の三票を除き殘六百六十餘票の分け前四年間の任期中職責を完

## 御親閲を仰ぐ

## 榮ある代表二名

### 令旨記念日參加の

### 一部人選決定す

令旨奉戴十週年記念として來月二日午前八時から東京日比谷公會堂で式典並に青年團員の表彰式を擧行し三日地方青年團、各予青年團實業學校、青年訓練生右團體の代表者各一名宛上京し宮城二重橋廣場又は代々木練兵場に於て御親閲あらせらるゝ本郡下でもそれ〴〵人選中であつたが女子青年團では平町材木町阿部テル（二四）青年團では山田村下田田通（三六）と決定他は目下人選中

ものが人山炭礦ではこの程比較的低廉に供給を受け得る適當の仕入先を發見今十六日から一升二十一錢で販賣する事になつたと

## 健康週間中

### 平校督勵事項

健康週間は愈々今十六日で終りであるが平第一、第二、當日受持教師から支給する事三、附近のパン屋に交渉し毎日其處から支給する事四、前日受持教師から翌日のパン代を支給する

## 當局が弱り切る

## 貧兒救濟の査定

### 資金は少々あるが

### さてその處分法

平町各小學校に於ける缺食兒童は既報の如く學校當局の表面的發表によれば皆無の模樣なるに反し各教師の訪問調査によれば極貧兒童と見るべきもの平第一、第二兩校で約五十餘名に第三校では生徒數の割合に比較的多く二十餘名に達する筈でこの調査の標準としては町稅五十錢以内納稅の家庭と實際見聞に依るもので町役場では各小學校長と打合せ先頃平善華會托鉢寄附の八十二圓に町費極貧兒童救濟資金百圓餘を加へ之れが應分に鑑て目下協議中であるが兒童に對しパン、衣類其他を支給する事は相當難問題と見られてその決定を見ないが當局者間に交されてゐる意見としては一、一定金額を數日分家庭宛に贈る事事等でその何れを取るべきか等であるが一方月二十錢の保護者會費未納者不足者も少なからずその方面でも當局は弱つてゐると

**平商生徒遠足**　平商校では高野敬論引率で十六日午前九時から平第一校で組四十六、女三百七十三合計七十三名、女六百六十名計七百十九名で雇入れは男六百二十三名で解雇者より雇入れが三百四名の超過と云ふ奇現象を呈した

開催早起、早寢運動の奬勵十三日兒童健康診斷、寄生虫驅除、家庭の整頓に關する注意十四日校内各自學校區域の大掃除及職員巡視十五日受持兒童作業中の委勢調査就寢、起床時間調査十六日を勵行した外期間中努力事項を配付した

**女の集り二つ**　石城郡女子青年團總會は來月二日午後一時から平第二校で開催するが平婦人會でも三日午前十時から平第二校で總會を開催の筈

日午前八時から大野藥王寺へ遠足午後二時歸平散會した

## 事績輯錄と繪葉書發行

### 濱通記念事業

濱三郡教育會では教育勅語渙發四十年記念事業として各小學校別教育事績の編纂及名所舊蹟繪葉書の發行をなすが尙ほ同會では卅一日午前九時から平第一校で總會を開催出席十五名である

**詐稱男の餘罪**　當時住所不定無職水戸村渡戸牛松草野鳳治（二六）は去九月中鄕村某旅館に宿泊し氏名詐稱の廉で目下平署に留置されてゐるが同人は本年八月頃東京赤坂區青山五丁目木炭商林辰治方に雇はれ中同月十三日店の賣溜金四十圓を掠奪い逃走してゐたものと判明した

## 黨内有數の新智識

## 船田代議士來る

### 來廿四日平植田で開かるる

### 政友會政談大演說會

政友會の政談演說會は既報の如く來二十四日正午から平町午後三時から植田町の二ケ所に於て開催大いに現下の難局打開に就て眞摯な叫びを揚げる事になつてゐるが同士は既報の外元田國東翁の女婿にして黨内の新智識を以て自せられつゝある元東京市助役栃木縣第一區選出船田中氏が來つて壇上熱火の快辯を揮ふ筈である

## 千の番號に驚いた

## 一部の失業登錄者

### 事實が解て一安心

### 不況ナンセンス

濱三郡教育總會は來月一日午前十一時から平第一校で開催するが當日は國學院大學教授松永材氏の講演後各教育部會と西す年以上勤續教員其他の表彰式を行ふ筈で目下準備中であるが出席員約四百餘名に上る見込で

ある尙當日を期し總會を兼ね濱三郡各小學校兒童製作優良書及平第一校の書方手工品、教員各學級經營案の三展覽會を併せて催す由で一般兒童父兄の觀覽を希望すると

政友會の政談演說會は既報の如く來二十四日正午から平町午後三時から植田町の二ケ所に於て開催大いに現下の難局打開に就て眞摯な叫びを揚げる事になつてゐるが同士は既報の外元田國東翁の女婿にして黨内の新智識を以て自せられつゝある元東京市助役栃木縣第一區選出船田中氏が來つて壇上熱火の快辯を揮ふ筈である

平町上水道工事も十四日の委員會で無事土地買收が決定し待たれた工事も愈々今や先を爭い一種の優先權を獲た二百二十一名の登錄者

が登錄番號の意外に大きな數に達して驚るので少なからず不安を感じ登錄者の最後のものは一千三十六人の登錄があつたものとのみ思込みそれに好間の失業者を合すれば一千五百名の多きに達するだらうと豫想し工事で目下準備中であるが出席

人夫使用は平均七八十名で洪水時代を裏切つて解雇

## 投槍

### 投稿歓迎

### 平第三校の運動會を觀て

各小學校の運動會が運動的精神と智慮の本意となつて内容の改善に充實されたことを一際目立つて來た、これは多くの人と共に我々父兄は喜ばねばならない。

第三小學校の初めての運動會が校長先生初め諸先生の努力によつて模範的内容の充實した運動會であつたことを悅ぶ次第である。

◇

加之運動會の競走種類の向上に先生方の馬力をかけ今までに見られぬプログラム、これは時代に最も則した方策である。スピード、アップと云ふ聲は至る所で

現物人に對し、兒童に對し、明るく、氣持よく、規律正しく、親切と丁寧をもつて掛けたポスター。

これがそれ程校庭に滿員になりし見物人に對し好き感じを與へたかは云ふ迄もない、この日、この運動會を見た人々の口々に語る所である。

◇

第三小學校の初めての運動會に、兒童で着る着物馬具やわらぢなどに入れたりしてぼろの利用のみちは廣い

◇

今吾々の鄕里は窮迫のどん底にある。私には鄕里に送る何物をもたない、たゞぼろあるのみだ。そして私は友人に會ふ毎に、讀み古しの雜誌や本などを農村に送つて呉れと頼んでゐる。農村には讀みたくも本がないのだから。

農村に關係のない町住ひは少なからう、そして一行李や二行李のぼろのない家も、また十冊や二十冊の古雜誌のない家も町には少なからう、町では廢物でも農村では廢物でないことが多い。私はこの點に町住まひの御一願を頼はしたい。

（平町プロインテリ投）

耳にする總べてのものが文化の頂上へ向つてスピードを、アップしてゆく。

◇

これは文明人の義務であり、幸福でもあると思ふかうして種々なる方法によつて兒童のあらゆる能率が合理的に向上されてゆくことは、悅ばしきことである

平第三小學校がかくもよく初めての運動會に、兒童と、見物人との合理化されてゐることを、大いに自慢できることと思ふ。

これは校長、諸先生の統一されて活躍した、働きによることと思ふ次第である

（一父兄投）

## ぼろを送る

私はかなり儉しい生活をしてゐるが、それでも一年に三行李位のぼろがたまる家内がそれを丹精に洗つて、たまると鄕里に送つてゐる。

鄕里は百姓だが、何かとぼろがいるのである、野良着の着物馬具やわらぢなどに入れたりしてぼろの利用のみちは廣い

◇

今吾々の鄕里は窮迫のどん底にある。私には鄕里に送る何物をもたない、たゞぼろあるのみだ。そして私は友人に會ふ毎に、讀み古しの雜誌や本などを農村に送つて呉れと頼んでゐる。農村には讀みたくも本がないのだから。

農村に關係のない町住ひは少なからう、そして一行李や二行李のぼろのない家も、また十冊や二十冊の古雜誌のない家も町には少なからう、町では廢物でも農村では廢物でないことが多い。私はこの點に町住まひの御一願を頼はしたい。

（平町プロインテリ投）

## 各社の代表會同して

## 炭礦二割二分減協議

### 避け難い多少の紛糾に

### 結局明日迄續行檢討乎

常磐六大炭礦では當面の難局打開上その先決問題たる送炭二割二分減實行に關し今十六日正午から湯本町松柏館に於て

福島（菊地）吉河（下野、湊谷）磐城（菅原、筒井）入山（吉田、大貫）大倉（尾藤）大日本（館）

の各代表及東京木曜會の委員全部が出席夫々協議しつゝあるが時節柄その必要を痛感し乍らも各會社の立場上その利害關係が必ずしも一致しない處から各自說を固執して自社の利益を擁護せんとする結果若干議論の紛糾を免れ難き情勢に在り彼此本日中にはその決定を見るに至らず會議は明十七日續行開催されるものと觀測されてゐるが結局各社意見の歩み寄りによつて穩當の妥協を待て二十日東京に於て開かるる全國聯合會に提案さるゝ事になるだらうと

## 長男殺し

## 判決

### 控訴院で二年半に減刑

矢部裁判所より懲役二年六ヶ月（原審五ヶ年）の言渡しを受けた寅市は温厚なる老農夫で附近の人々から信望あつたが長男枝は性來怠け癖で前科二犯で町内から蛇蝎の如く嫌はれてゐたものであつて昨年十月三十日夜十一時頃泥酔して歸宅するや熟睡中の實父寅市に馬乘りとなり手拭で絞殺せんとした爲め寅市は大いに驚き次の室に就寢中の次男武に救を求めて共謀して遂に殺害したもので裁判長より大いに同情され如上の判決言渡しがあつたもので其減刑に寅市は老の眼をしばたゝきながら從順に引かれて行つた

の當策は却て後の患を大なるに至らしむ▲四條の人　眞面目に働け追はずとも貧乏神は逃げ出すべし▲五黃の人　身の乘り過ぎるときは横道に脱して苦しむべし▲六白の人　殺伐の氣を起さず靜にして動止に注意せよ▲七赤の人　徒らに理想のみ高くして實踐の伴はざる日▲

## 四倉女子青年團員活躍

### 四倉町女子青年團

昨十五日同町小學校庭運動會に賣店を開き總賣上金二十八圓中純益十圓六錢を得たので此れを基本とし益々運動の計劃であると

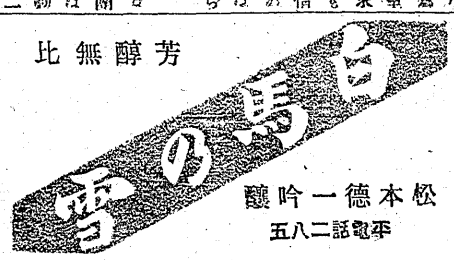
解雇よりも

## 雇入れ增加

### 漸次好調子に

その筋調査による五十名以上の職工を使役してゐる縣下五十九工場九月中の解雇並に雇入れ狀況は營業不振から必然的に發生した失業者や先を爭い一種の優先權を獲た二百二十一名の登錄者

に於ては殆ど全部がしごとにありつくだらうと

芳醇無比
松本德一吟釀
平電話二八五

カキ貝　御料理
カキフライ
カキナベ
スカキ
右之通り御案内申上ます。
十月十六日より
御料理仕出し
一の井
電話一六七

入院隨意（自炊の便あり）
X光線科
外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一二九
病室完備

專門醫師任擔
無料檢眼券
無料檢眼
御利用下さい
TOKIWAYA
信用アリ正確萬點ノ時計
御客樣ノ本位ノ眼鏡部
常盤屋時計店
平壹
電三三九

外交員募集
○電氣、機具の販賣員　貳名
○固定給、歩合及奬勵金支給す
○經驗の有無を問はず志望者は履歷書御送附ありたし（保證人を要す）
（姓名在社）

秋とサロン
サロンの黑ビール
天高く
氣朗かに
醇味にして
芳醇の
黑ビールを召せ
サロン
田町電話二五三番